

協働パイロット事業（H26）企画提案書

団体名：

1. 事業の名称

--

2. 事業方針（市民ニーズや協働で取り組む意義を踏まえてください）

--

団体名：

3. 協働にあたって提案団体が果たす役割及び行政に望むこと（市の役割）

団体名：

4. 成果目標（できる限り具体的に表現してください）

団体名：

5. 事業計画

団体名：

6. スケジュール

団体名：

7. 実施体制および主要スタッフの経歴

団体名：

8. 特にアピールしたいこと（専門性、独自性、先駆性、実績など）

## 協働パイロット事業「企画提案書」等の記入の手引き

### 1. 事業の名称

事業名は、企画提案書を見た市民や審査委員の一番初めに目に留まるものです。見た人に好感を持たれ、印象に残るような親しみやすく、わかりやすい事業名を考えましょう。

### 2. 事業方針

事業を提案する理由や問題意識、きっかけなどをわかりやすくまとめ、それらを解決し、実現していくための事業方針を明らかにしましょう。

### 3. 協働にあたって提案団体が果たす役割及び行政に望むこと

協働パイロット事業は、提案団体と市が協働して行う事業です。それぞれの特性を生かした役割分担が成功の鍵となりますので、整理しておきましょう。

### 4. 成果目標（できる限り具体的に表現してください）

事業を実施することで得られる成果を示してください。必ずしも、数値目標である必要はありません。

### 5. 事業計画

何を、どのような対象に対して、どのように、どこで行うのか、実施する事業内容を具体的に記載してください。

### 6. スケジュール

事業の準備段階から、報告書の作成まで、無理のないスケジュールを記載してください。

### 7. 実施体制および主要スタッフの経歴

事業を実施する際の責任体制と、技術的な裏づけとなるスタッフの経歴を記載してください。

### 8. 特にアピールしたいこと

提案団体の専門性、独自性、先駆性、実績など、アピールしたいことを自由に記載してください。

### 9. 予算書

(ア) 実費的な経費のほか、間接経費（20%以内）を活用し、実行性のある予算書を作成してください。

(イ) 実費弁償契約を希望する場合は、希望欄にご記入ください。

(ウ) 委託料以外の財源として、参加費等を徴収する場合には、その内訳をご記入ください。

(エ) 補助事業ではありませんので、事業終了後に収支報告書の提出はありません(実費弁償契約を除く)。